

数字で学ぶ 男女共同参画教室

1時間 23分

(平成28年総務省「社会生活基本調査」より)

この数字は、6歳未満の子どもをもつ夫が1日あたりに育児・家事などを行う時間です。10年前に比べ23分増えていますが、妻の7時間34分と比較すると圧倒的に短い状況です。

男性の育児・家事などの家庭生活への参画は、ワーク・ライフ・バランスの推進や女性の活躍推進の視点からも重要なことです。国の「第4次男女共同参画基本計画」では、平成32年までにこの時間を「1日あたり2時間30分」にするという目標を掲げ、長時間労働の削減等の働き方の見直しなど、育児・家事に男性が参画できるような環境整備を進めています。

男女が共に仕事と生活を両立できる暮らしやすい社会の実現に向け、社会全体で働き方や意識を改め、男性の育児・家事などへの参画を後押ししていくことが必要です。また、それが安心して子どもを産み育てる環境づくりにもつながります。